

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	レーベン小田原 THE TOWER	階数	地上17F 地下1F
建設地	神奈川県小田原市城山一丁目566-1	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	580人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	病院集合住宅、工場、等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年4月 予定	評価の実施日	2024年4月4日
敷地面積	2,676㎡	作成者	株式会社三輪設計
建築面積	1,743㎡	確認日	2024年4月4日
延床面積	24,325㎡	確認者	株式会社三輪設計



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (46 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 81%

③上記+②以外の 81%

④上記+ 81%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.9**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

**LR のスコア = 3.3**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他	
神奈川県小田原市に建設される複合用途建築物である。建築物外皮の断熱性能を高めるとともに高効率な設備機器を採用し、運用上の効率的なエネルギー利用に配慮している。		
<b>Q1 室内環境</b> ・ほぼ全面的にF☆☆☆☆の建材を使用し、室内の良好な空気質環境の確保を図っている。	<b>Q2 サービス性能</b> ・耐用年数の長い外装材・内装材を採用し、建物の耐用性の向上に配慮している。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> -
<b>LR1 エネルギー</b> ・高効率な設備機器を採用し、エネルギーの効率的利用に配慮している。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ・LGSの採用により躯体と仕上材の分離が容易であり、解体時におけるリサイクルを促進させる対策がある。	<b>LR3 敷地外環境</b> ・周囲への漏れ光に配慮した屋外照明計画としている。 ・駐車場の確保や出入りのしやすい駐車場計画により、交通渋滞緩和に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される